

学校インターンシッププログラムのご案内
～インターンシップ生の受け入れについてのお願い～

2018

School Internship Program

Kansai University

関西大学

関西大学『学校インターンシップ』のご案内

本学では高大連携事業の一つとして、大学生が教育現場で就業体験を積む「学校インターンシップ」を行っております。本学学校インターンシップ事業は、2018年度で16年目を迎えました。2005年度文部科学省「特色GP」に採択以降も、毎年150名近くの本学学生が学校現場で研修を行っております。

学校インターンシップは、大学生の職業教育という意義だけではなく、年長の若者と年少の若者とをつなぐ、若い力による高大連携事業なのだと、私たちは考えております。各地の教育委員会では、大学生の教育現場での活動をボランティアと位置づけているところが多いようです。しかし、本学では、ボランティアは学生個人の自主的な活動であるのに対して、学校インターンシップは大学教育の一環として位置づけております。その具体的な違いは、①面接・選考した上で学生を送り出していること、②内定者オリエンテーション・ビジネスマナー講座・教職キャリアデザイン講座・事後報告会などの事前、事後講座の受講を義務づけていること、③研修報告書・業務日報の提出によって単位認定を行っているということです。大学教育の一環として位置づけているため、受入学校・園での最低実働時間も設けております。

私どもの趣旨にご賛同賜り、「教職に就かれている諸先輩の方々」および「児童・生徒」との出会いを切に願っております。本学の学生を受け入れていただき、将来の教員たる資質の向上と涵養にご支援くださいますようお願い申し上げます。

関西大学 社会連携部

高大連携センター長 品川 哲彦





学校インターンシップ 2018

CONTENTS

1	学校インターンシップ プログラム概要	1
2	学校インターンシップ 実施スケジュール	2
3	学校インターンシップ 研修事例	6
4	学校インターンシップ 受け入れに関するQ&A	11
5	参考資料(関連文書様式の見本)	14
6	学校インターンシップ 受入申込みについて	17

学校インターンシップ

プログラム概要

目的

学生が学校・園の日常的な教育活動、課外活動などを幅広く実地体験することを通して、自己の適性を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識を向上させることを目指します。

研修生

本学学部生、本学大学院生(意欲と動機が明確で、誠実に取り組むことができる者を選考いたします)。
※原則として、学年・学部・教職希望の有無など、特定の条件は設けておりません。

受け入れ

本学では学校インターンシップを大学教育の中に位置づけて単位認定をしておりますので、①実施期間は**8月上旬～12月中旬**で設定、②研修時間は**総計36時間以上**、③学年による時期の制約について、下記の点にご配慮をいただきますようお願いいたします。実施期間の詳細は、受入学校・園にて個別に日程を設定していただけます。

実施期間 **2018年8月上旬～12月中旬**

(例) 短期連続型：2018年8月上旬～9月中旬の間、連続6日間など

(例) 長期型：2018年9月下旬～12月中旬の間、毎週特定曜日1日など

研修時間

総計36時間以上

関西大学学年歴

春学期試験期間：7月24日(火)～7月31日(火)

夏季休業期間：8月2日(木)～9月20日(木)

秋学期授業開始：9月21日(金)

※受入期間を設定される際、参考にしてください。

業務 (研修内容)

インターンシップ期間中の業務(学生の研修内容)については、受入学校・園で設定してください。

例：学校行事(運動会・文化祭など)の補助、授業補助、クラブ活動・図書室運営・教材作成の補助など本プログラムをより一層充実したものにするため、複数の業務内容を組み合わせていただくなど、ご配慮をいただければ幸いです。

費用

インターンシップ期間中の労働への対価は必要ありません。交通費につきましては、本人が負担(一部大学で補助)いたします。

守秘

インターンシップ期間中に知り得た学校および関連機関などの機密事項と在校生の個人情報の取り扱いについては、インターンシップ生から守秘義務に関する「誓約書」(P.15参照)を提出させます。

事故補償

大学の責任によりインターンシップ生を学研災付帶賠償責任保険に加入させ、これを適用します。

▶対人賠償と対物賠償あわせて **1事故につき1億円限度**

事前と事後の指導

インターンシップ生には、事前講座でマナーや学校現場での心構えに関しての受講を義務づけております。また、インターンシップの成果を振り返るための事後報告会を実施しております。

2

3月

4月

5月～6月

学校インターンシップ

実施スケジュール

※各行事の開催日時は変更することがあります。

学校・園(教育委員会)

学校インターンシップWebエントリーを開始(本パンフレット受け取りから)します。
Webエントリーシステムへアクセスいただくには、ID・パスワードが必要ですので、P.17をご参考ください。
本パンフレットをご覧いただき、学生の受け入れをご検討ください。

学校・園(教育委員会) 大学

受入学校・園向け学校インターンシップ募集説明会 4月11日(水)16:30～17:40
受け入れをご検討いただいている学校・園、教育委員会の先生方を対象とした説明会を開催します。受入学校・園向け学校インターンシップ募集説明会に参加を希望される場合はP.18の申込書をFAXにてお送りください。

学校・園(教育委員会) 大学

学校インターンシップWebエントリーシステム利用ID・パスワード申請締切 4月19日(木)

学校・園(教育委員会) 大学

学校インターンシップWebエントリー締切 4月21日(土)

本学学生を受け入れて下さる場合は、期日までにWebエントリーシステムにご登録ください。

学生

学校インターンシップ募集説明会 5月9日(水)～5月15日(火)

学校インターンシップを希望する学生に、募集説明を行います。

学校インターンシップ学生申込み締切 5月23日(水)

大学 学生

派遣学生の選考・内定 5月23日(水)～6月3日(日)

本学学校インターンシップ担当教員が申込者の書類審査・面接を行い、派遣学生を内定します。

学校・園(教育委員会) 大学

受入学校へ内定者を通知 6月7日(木)頃

派遣内定学生の氏名、志望動機などを記載した「個人票」を送付し、希望している研修内容や期間をお知らせします(P.14～P.15参照)。内定した学生が、事前講座の②のビジネスマナー講座を受講後、6月21日(木)から1週間以内に受入学校・園へ電話連絡をし、訪問(面談)のアポイントを取ります。学生からの連絡がありましたら、受入学校・園による「面談」をお願いします。

5月～6月

学校・園(教育委員会) 大学

「学校インターンシップ実習生派遣に関する覚書」の締結

本学と受入学校・園との間で、インターンシップ生に決定した学生の派遣に関する「覚書」(P.15参照)を締結します。その後、インターンシップ生の守秘義務についての「誓約書」(P.15参照)を大学から受入学校・園へ送付します。

学生

事前講座①

内定者オリエンテーション 6月13日(水)

学生

事前講座②

ビジネスマナー講座 6月20日(水)

学校現場でのインターンシップの意義、心構え、必要なマナーなど事前指導を徹底します。

7月

学生

事前講座③

教職キャリアデザイン講座 7月4日(水)

学校インターンシップ受入経験のある学校の先生を招いて講演を行った後、学生によるグループワークを行います。

8月～12月

学校・園(教育委員会) 大学 学生

学校インターンシップ実施

実施期間 8月上旬～12月中旬

※学校・園での総研修時間が36時間以上となるよう実施してください。

1月

大学

インターンシップ生の単位認定

「研修報告書」「業務日報」の提出にもとづき、大学においてインターンシップ生の単位認定を行います。

2017年度受入申込学校・園の校種別・地域別の数値

●高等学校

	受入申込校数【実】	派遣校数【実】	受入可能人数	派遣人数
大阪府立	23	18	92	47
大阪市立	3	3	7	7
兵庫県立	3	2	10	5
京都府立	2	0	5	0
奈良県立	1	1	2	1
私立	7	6	28	10
合計	39	30	144	70

●中学校

	受入申込校数【実】	派遣校数【実】	受入可能人数	派遣人数
池田市	5	3	13	5
高槻市	4	0	19	0
豊中市	5	1	23	1
吹田市	8	4	55	12
守口市	1	0	10	0
寝屋川市	2	1	6	3
東大阪市	2	1	8	1
八尾市	2	1	13	2
堺市	1	1	1	1
河内長野市	1	0	2	0
西宮市	2	0	6	0
京都市	3	1	7	1
長岡京市	3	2	8	3
私立	2	2	5	4
合計	41	17	176	33

●小学校

	受入申込校数【実】	派遣校数【実】	受入可能人数	派遣人数
池田市	10	0	35	0
高槻市	6	3	35	3
豊中市	17	1	49	1
吹田市	10	3	47	7
摂津市	1	1	3	1
寝屋川市	2	0	6	0
東大阪市	13	1	54	1
八尾市	3	0	16	0
堺市	2	2	2	2
宝塚市	1	1	3	2
西宮市	2	0	6	0
京都市	9	1	28	2
長岡京市	8	0	24	0
合計	84	13	308	19

●幼稚園

	受入申込校数【実】	派遣校数【実】	受入可能人数	派遣人数
池田市	4	0	5	0
吹田市	8	2	31	5
西宮市	1	0	3	0
合計	13	2	39	5

●支援学校

	受入申込校数【実】	派遣校数【実】	受入可能人数	派遣人数
堺市	1	1	1	1
合計	1	1	1	1

●総計

	受入申込校数【実】	派遣校数【実】	受入可能人数	派遣人数
高等学校	39	30	144	70
中学校	41	17	176	33
小学校	84	13	308	19
幼稚園	13	2	39	5
支援学校	1	1	1	1
合計	178	63	668	128

2017年度派遣学生の学部・年次別の内訳

●学部別派遣学生数

学部	年次()内数字は入学年	人数	学部計
法	1年次(17)	1	7
	2年次(16)	1	
	3年次(15)	5	
	4年次(14)	0	
文	1年次(17)	15	67
	2年次(16)	29	
	3年次(15)	23	
	4年次(14)	0	
経済	1年次(17)	0	4
	2年次(16)	2	
	3年次(15)	1	
	4年次(14)	1	
商	1年次(17)	1	6
	2年次(16)	4	
	3年次(15)	1	
	4年次(14)	0	
社会	1年次(17)	3	9
	2年次(16)	3	
	3年次(15)	2	
	4年次(14)	1	
政策創造	1年次(17)	0	0
	2年次(16)	0	
	3年次(15)	0	
	4年次(14)	0	
外国語	1年次(17)	0	2
	2年次(16)	0	
	3年次(15)	2	
	4年次(14)	0	
人間健康	1年次(17)	2	17
	2年次(16)	4	
	3年次(15)	9	
	4年次(14)	2	
総合情報	1年次(17)	3	4
	2年次(16)	1	
	3年次(15)	0	
	4年次(14)	0	
社会安全	1年次(17)	0	0
	2年次(16)	0	
	3年次(15)	0	
	4年次(14)	0	
システム理工	1年次(17)	1	6
	2年次(16)	5	
	3年次(15)	0	
	4年次(14)	0	
環境都市工	1年次(17)	2	2
	2年次(16)	0	
	3年次(15)	0	
	4年次(14)	0	
化学生命工	1年次(17)	1	4
	2年次(16)	0	
	3年次(15)	3	
	4年次(14)	0	
合計(派遣者数)			128

●年次別派遣学生数

年次()内数字は入学年	人数
1年次(17)	29
2年次(16)	49
3年次(15)	46
4年次(14)	4
合計(派遣者数)	128

2017年度研修先学校・園一覧

●研修先学校・園一覧

高等学校(大阪府立)	高等学校(兵庫県立)	中学校(東大阪市立)	小学校(豊中市立)
大阪府立旭高等学校	兵庫県立尼崎高等学校	東大阪市立繩手中学校	豊中市立北緑丘小学校
大阪府立市岡高等学校	兵庫県立神戸商業高等学校	中学校(寝屋川市立)	小学校(吹田市立)
大阪府立大冠高等学校	高等学校(奈良県立)	寝屋川市立第一中学校	吹田市立江坂大池小学校
大阪府立堺東高等学校	奈良県立香芝高等学校	中学校(堺市立)	吹田市立岸部第一小学校
大阪府立桜塚高等学校	高等学校(私立)	堺市立浜寺南中学校	吹田市立桃山台小学校
大阪府立狭山高等学校	香ヶ丘リベルテ高等学校	中学校(八尾市立)	小学校(摂津市立)
大阪府立渋谷高等学校	関西大学第一高等学校	八尾市立八尾中学校	摂津市立三宅柳田小学校
大阪府立吹田高等学校	関西大学北陽高等学校・中学校	中学校(京都市立)	小学校(東大阪市立)
大阪府立千里高等学校	関西大学高等部	京都市立洛西中学校	東大阪市立小阪小学校
大阪府立高槻北高等学校	興國高等学校	中学校(長岡京市立)	小学校(宝塚市立)
大阪府立刀根山高等学校	三田松聖高等学校	長岡京市立長岡第二中学校	宝塚市立西山小学校
大阪府立登美丘高等学校	中学校(池田市立)	長岡京市立長岡第三中学校	小学校(京都市立)
大阪府立富田林高等学校	池田市立池田中学校	中学校(私立)	京都市立小栗栖宮山小学校
大阪府立花園高等学校	池田市立石橋中学校	京都文教中学校	幼稚園(吹田市立)
大阪府立福井高等学校	池田市立北豊島中学校	雲雀丘学園中学校	吹田市立認定こども園 吹田第一幼稚園
大阪府立みどり清朋高等学校	中学校(豊中市立)	小学校(高槻市立)	吹田市立千里第二幼稚園
大阪府立山田高等学校	豊中市立第十二中学校	高槻市立大冠小学校	支援学校(堺市立)
大阪府立夕陽丘高等学校	中学校(吹田市立)	高槻市立北清水小学校	堺市立百舌鳥支援学校
高等学校(大阪市立)	吹田市立片山中学校	高槻市立松原小学校	
大阪市立 大阪ビジネスフロンティア高等学校	吹田市立第一中学校	小学校(堺市立)	
大阪市立高等学校	吹田市立高野台中学校	堺市立赤坂台小学校	
大阪市立南高等学校	吹田市立古江台中学校	堺市立家原寺小学校	

学校インターンシップ

研修事例

以下に2017年度研修事例を紹介いたします。なお、「インターンシップ生の声」は学生が提出した「研修報告書」の内容から抜粋しています(学年は研修時のものです)。

短期連続型

事例1 幼稚園

期間 8月29日～9月19日の間、5日間(総研修時間45時間)

研修内容 保育の補助・準備、運動会の練習補助、準備や片付け

インターンシップ生の声 文学部 3年次生

5日間という短い期間でしたが幼稚園で研修をさせて頂きました。最初の3日間は夏休み中のプール登園日でした。プールに入る前の準備運動は園児が楽しめるダンスになっていました。水に顔をつけるようにするという目標でフラフープを使用したり、対戦形式でバタ足の練習をしたり、色々な方法で行われていました。どの活動も園児の興味を惹くような内容だったので、工夫して楽しく水泳学習が行われていると思いました。4日目の登園の際に、園児が保護者の方となかなか離れないということがありました。私はどのように声をかければいいのか分かりませんでした。先生はその際、優しく話しかけ、その子が好きなことの話や、今日ここまで来られたことをほめて、もう少しがんばろうと励ましていました。子どもをただほめるだけでなく、その子のやる気を引き出してあげることが大切であると実感しました。今後はそのようなことを意識し、工夫して園児と関わりたいと思います。

事例2 小学校

期間 9月11日～9月15日の間、5日間(総研修時間38時間)

研修内容 授業補助、学校行事の補助、クラブ・委員会活動の補助、教材作成

インターンシップ生の声 経済学部 2年次生

学校インターンシップに参加することを決めた時の児童たちと積極的にコミュニケーションをとるという目標は達成できたと思います。授業中に集中力がない児童や準備ができていない児童に対して、名前を呼んで促してあげることで行動を改めてくれたり、休み時間には「先生あそぼう」と声をかけてくれたりと距離が縮まっていることを実感できました。その一方で、注意をしなくてはいけない時に曖昧にした結果、自分1人で対処することができませんでした。指導いただいていた先生は注意する時にメリハリをつけて児童たちと接していました。私も見習ってメリハリをつけて行動していかなくてはならないと思いました。そのためにも常に周りを見て何が起きているのか、何をしなくてはならないのかを考え行動していきたいと思います。また、朝から放課後まで先生たちは休む暇もなく、授業や会議、行事の準備や保護者への対応などがあるため、体力も必要であることがよく分かりました。これらの事を身につけるためにも普段から運動をし、周りを見て行動することや一つ一つのことに対して目的をもって行動することを意識してこれからの大学生活を過ごしていきたいです。



事例3 中学校

期 間 8月22日～9月3日の間、10日間(総研修時間58時間)

研修内容 文化祭に関わる諸業務の補助

インターンシップ生の声 人間健康学部 1年次生

10日間の研修では、主に中学1年生の文化祭準備に携わりました。学年の展示物の作成の中で、多くの生徒と関わることができました。「先生」と呼ばれて嬉しかった反面、その責任を感じることができたのは大きな収穫であったと思います。作業の中では私が生徒に指示を出す場面がありました。的確な指示を出すことができず、二度手間になってしまったり、自分自身の余裕がなくなってしまい、丁寧な声かけができなかったり不甲斐なく思う場面もありました。その時に、素早く的確に判断すること、自分の感情を隠して生徒に上手く言葉を選んで声をかけること、思っていたことと違う結果になってもある程度受け入れ、それを活かす方法を考えること等、先生方が当たり前にやっていることの難しさを感じました。また、中学1年生という学年は、子ども扱いをしそうで、任せっきりにもしないという手を差し出す加減が重要な時期と思いました。今回「教師」という職業の今まで見ることができた部分を見たり経験したりすることができ、とても勉強になりました。教育実習の前にこのような研修ができたことは本当に有意義であり、これを糧に自分のなりたい教師像を確立させていきたいです。

事例4 高等学校

期 間 8月28日～9月8日の間、10日間(総研修時間62時間)

研修内容 学習のサポート、進路指導関連の支援、HR活動のサポートや準備

インターンシップ生の声 社会学部 1年次生

私は2週間のインターンシップで教師という職業についてさまざまなことを学ぶことが出来ました。教え方は十人十色で、それぞれの先生方の工夫を見ることが出来ました。しかし、どの先生方も生徒一人一人に向き合い、生徒とともに授業を作り上げているところが共通していて、とても印象的でした。これからの大學生生活でどうすればそのような素敵な授業を行うことが出来るのか少しではあります分かった気がしました。私は生徒たちと文化祭準備や保健室などで触れ合う中で、生徒はたくさんの悩みを抱えており、たくさん葛藤していました。思春期の繊細な時期の生徒と関わる責任感を知りました。先生とはそういった面でも生徒たちに多大で強力な影響をもたらす存在なので、その存在であることを自覚し、慎重に且つ親身になって接する必要があると思いました。私はこのインターンシップを通して、自分が高校生だった時では知ることのできなかったことをたくさん知ることができました。これから私は教師を目指すのかはわかりませんが、将来、人と関わる時にたくさん共感できるように、たくさんの経験を積んでいきたいと思いました。



長期型

事例1 小学校

期 間 9月14日～11月29日の間、週1日間程度(総研修時間37時間)

研修内容 学習補助、授業見学、運動会の練習補助

インターンシップ生の声 文学部 1年次生

主な研修は、算数や国語、自習授業の学習補助や机間指導、授業見学、運動会の練習補助でした。授業中、準備が遅れている児童や、あまり集中できていない児童に対してのサポートや指導を意識して取り組みました。私は昔からなんとなく「先生になりたい」と思っていましたが、高校で進路を決める時に、本当にその道で良いのか分からず、決められませんでした。その為、2年次生で教育の道に進むのか、その他の道に進むのかを考えようと思い、学校インターンシップへの参加を決めました。研修は毎週水曜日に行っていましたが、毎回たくさんの驚きや発見がありました。学年が違うと児童たちの学習態度や人への接し方が違い、先生が褒めたり怒ったりするバランスも違いました。正直どう対応して良いのか分からずに困った場面もありましたが、児童たちと触れ合うことが出来て良い経験となりました。廊下で会うと「先生」と呼んで手を振ってくれる児童たちに会えなくなるのは寂しいですが、この経験を活かして、今後の進路を考えていけたらと思います。

事例2 中学校

期 間 9月4日～11月21日の間、週1日間程度(総研修時間36時間)

研修内容 授業支援

インターンシップ生の声 文学部 3年次生

研修では、主に授業に参加させていただき、授業の様子を見学しました。授業ごとに組み立て方や発問の方法、生徒を授業に引き込む方法などにおいて、様々な工夫が見られ、非常に勉強になりました。板書や声の大きさ、先生の立ち位置などの細かい点も含めて、今回の研修を通して学びました。授業に関することは、学校の教職課程の授業や来年の教育実習で活かしていきたいと思います。休み時間には、生徒と少しコミュニケーションをとりました。自分の話をしてくれたり、私に興味をもって色々と質問してくれたりと、生徒によって話の内容は異なりましたが、さまざまな生徒と交流できて良かったです。しかし、話しかけてくれる生徒とばかり話して、自分からあまり多くの生徒に声をかけることができなかったのは反省点です。他の反省点としては、授業見学中に授業についていくのが難しそうな生徒を見つけても、声をかけることがあまりできなかったということがあげられます。総じて積極性がまだ足りなかったなと感じます。自分からもっと出来ることを見つけて、動いていければ良かったと思います。この点は、これからしっかりと改善していきたいと思います。今回の研修で学んだこと、気づいたことを、これから的生活に活かしていきたいと思います。

事例3 高等学校

期 間 8月30日～11月12日の間、週1日間程度(総研修時間40時間)

研修内容 授業見学、文化祭・中学生向け学校見学会の補助

インターンシップ生の声 人間健康学部 2年次生

研修は、授業見学や行事の補助を行いました。授業見学では授業の組み立て方と授業の目的や生徒の学びに焦点を置き、見学しました。行事は、主に文化祭や学校説明会の準備と運営を生徒と共にいました。全体的な反省点は、あまり自発的行動できなかった点です。例えば生徒に話しかける頻度を増やしたり、生徒だけでなく先生方にもたくさんのお話を聞く機会を作り出したりしたかったです。積極性というものは、自分で感じるものではなく他者が感じて初めて認められるものだと考えています。そのため、私自身が頑張って行動していると思っていても、他者に伝わっていないければ、それは意味のないものになってしまいます。これは私の課題だと思っています。今回のインターンシップを通して、今後の課題を認識できたため、これから日常生活も意識をして生活していくと考えています。また、今描いている教師像をより具体的にすることが出来ました。教師という仕事のやりがいや苦労する場面を知ったうえで、より教職に対する想いが増しました。この想いを継続させ、私自身の原動力にし続けたいです。そして、今回のインターンシップで得たことをこれで終わりにせず、自信にして、活かしていきたいと強く思います。

Check!

《研修期間中の業務内容を紹介》

インターンシップ生は、自身が研修・体験した業務内容を1日ごとに「業務日報」に記録します。

そして、その日学んだことや反省したことの振り返りを行います。

その業務日報をもとに、どのような振り返りを行っているのか紹介します。

- ・研修期間：9月5日～9月18日 [短期連続型研修]
- ・研修先：中学校
- ・研修内容：授業見学・補助、部活動指導補助

9月5日 研修1日目

8:00	登校
8:20～	先生方へ挨拶・自己紹介
8:30～	全校放送による生徒への挨拶
8:45～	校内案内・打合せ
9:45～	授業見学（1年社会）
10:45～	授業見学（1年理科）
11:45～	授業見学（1年国語）
12:35～	昼休み
13:20～	授業見学（1年英語）
14:20～	授業見学（1年英語）
15:15～15:40	掃除、SHR
16:00	下校

初日に先生方と生徒へ自己紹介させていただけたので、その後のコミュニケーションが取りやすくなりました。

校舎内の配置や教室の場所などが分からだったので、案内していただき、とてもありがとうございました。

今日、学んだことや所感

1日目ということで緊張のあまり先生方について行くだけで、逆に邪魔になってしまったのではないかと心配しています。先生方は親切で、生徒たちは皆明るく、すれ違えばあいさつしてくれる生徒ばかりで安心しました。今日は実際に何かをするということではなく、校内を案内していただいたり、生徒の様子を見るなどで終わってたので、次回はもっと積極的に行動できればよいと思いました。

9月6日 研修2日目

8:00	登校
8:15～	校門であいさつ運動
	先生方へ挨拶・職員会議
8:45～	授業見学（1年英語）
9:45～	授業見学（1年理科）
10:45～	授業見学（1年英語）
11:45～	授業見学（1年国語）
12:35～	昼休み
13:20～	授業見学（1年国語）
14:20～	授業見学（1年社会）
15:15～15:40	掃除、SHR
16:00～	バレーボル指導補助
17:00	下校

すまづまな授業の見学ができて、指導方法など、とても参考になりました。

部活動に参加することによって、担当クラス以外の生徒と交流することができました。

今日、学んだことや所感

今日から校門で登校して来る生徒たちにあいさつすることになりました。みんながあいさつを返してくれるのが嬉しかったです。これをきっかけに私の顔を生徒たちに覚えてもらいたいと思いました。昼休みには、クラスに入つて一緒に昼食をとり、生徒との距離を縮めることができました。今日から部活動に参加させていただきました。久しぶりに体を動かすので、緊張しましたがしっかりと技術指導ができてよかったです。

9月12日 研修6日目

8:00	登校
8:15~	校門であいさつ運動 先生方へ挨拶・職員会議
8:45~	授業見学 (1年英語)
9:45~	授業の準備 (プリント印刷)
10:45~	授業見学 (2年英語)
11:45~	授業の準備 (プリント印刷)
12:35~	昼休み
13:20~	授業見学 (1年英語)
14:20~	授業見学 (2年英語)
15:15~15:40	掃除、SHR
16:00~	バレーボル指導補助
18:15	下校

授業をする以外にも、先生方には膨大な事務作業があることを知りました。

今日、学んだことや所感

今日は4人の英語の先生の授業を見学させていただきました。先生によって進め方や指導方法が違っていてすごく勉強になりました。授業で工夫している点などは、教育実習で実践してみたいと思いました。また、授業の準備としてプリント印刷をさせていただいたのですが、普段、授業をしながらこのような準備をされていることに気づき、改めて先生の大変さを実感することができました。

9月14日 研修8日目

8:00	登校
8:15~	校門であいさつ運動 先生方へ挨拶・職員会議
8:45~	授業補助 (1年英語)
9:45~	授業補助 (1年英語)
10:45~	授業補助 (2年英語)
11:45~	授業補助 (2年英語)
12:35~	昼休み
13:20~	授業で回収したプリントの丸つけ HRで配布するプリントの作成
15:15~15:40	掃除、SHR
16:00~	放課後学習指導
18:15	下校

英語の先生を目指しているので、同じ科目で異なる学年やクラスの授業見学はとても参考になりました。

今日、学んだことや所感

英語の問題で悩んでいる子に声をかける時に、どこまでをヒントとして説明して良いのか迷いました。理解できない箇所も半分半分だし、理解の深さも半分半分なので、どの程度まで手助けをしていいのか悩みます。今日は、放課後学習に参加しました。英語と数学に取り組みましたが、伝え方、学習の進め方をもっと工夫して、楽しく、集中力を長く保てるようにしようとと思いました。今日は考えることや、次回への課題が多い1日でした。

上記のように、事前にインターンシップ生が来ることを校内でご周知いただいたら、先生方や生徒の前で挨拶する機会を設けていただければ、学生たちは活動しやすくなります。また、研修内容が同一でも、異なるクラスや学年を担当することは、とても参考になるようです。

インターンシップ生は、教員の業務のごく一部しか知らないことが多いため、授業補助の他に、担任業務や進路指導業務、図書室業務、資料整理など、教員の多岐にわたる業務を経験することは、とても良い経験になります。学校とインターンシップ生の要望が合致すれば、予定されていた研修以外の内容を組み込んでいただいても結構です。

双方にとって、実りのある機会にしていただければ幸いです。

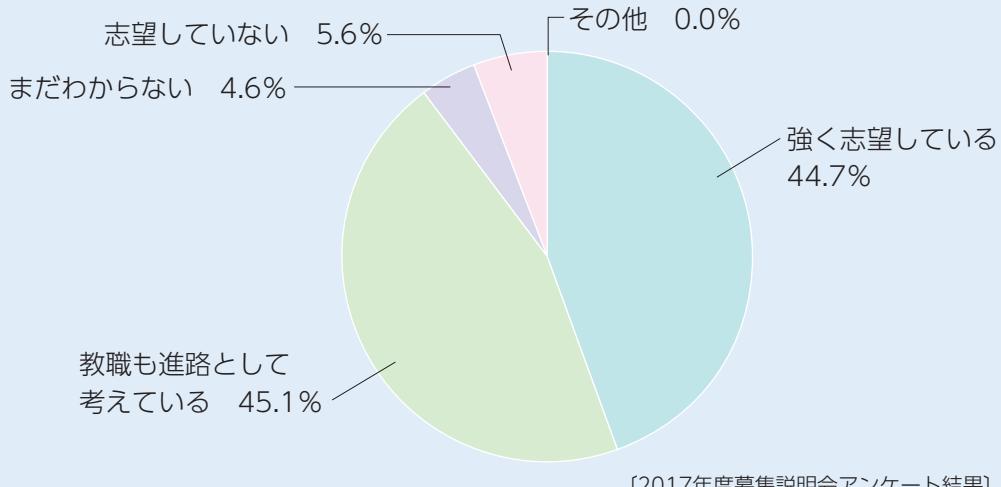
学校インターンシップ

受け入れに関するQ&A

Q 学校インターンシップを希望する学生はどのようなタイプの学生が多いのですか？

A 教職を希望する学生が大半です(グラフ1)。本学は、1年次生から、学校インターンシップを体験することができます。中には、自分は教員として適性があるのかと進路に迷っている学生もいます。学校インターンシップを体験して教職志望をしっかり固めたいという学生も多くいます。受入学校・園の先生方には、教員の仕事のさまざまな面を学生にご指導いただければ幸いです。教職以外の進路を考えている学生もいますが同様にご指導いただきたく存じます。

【グラフ1】教職志望について



Q 受入学校・園と学生のマッチング作業は大学がするということですが、受け入れる学生について、受入学校・園から要望を出すことはできますか？

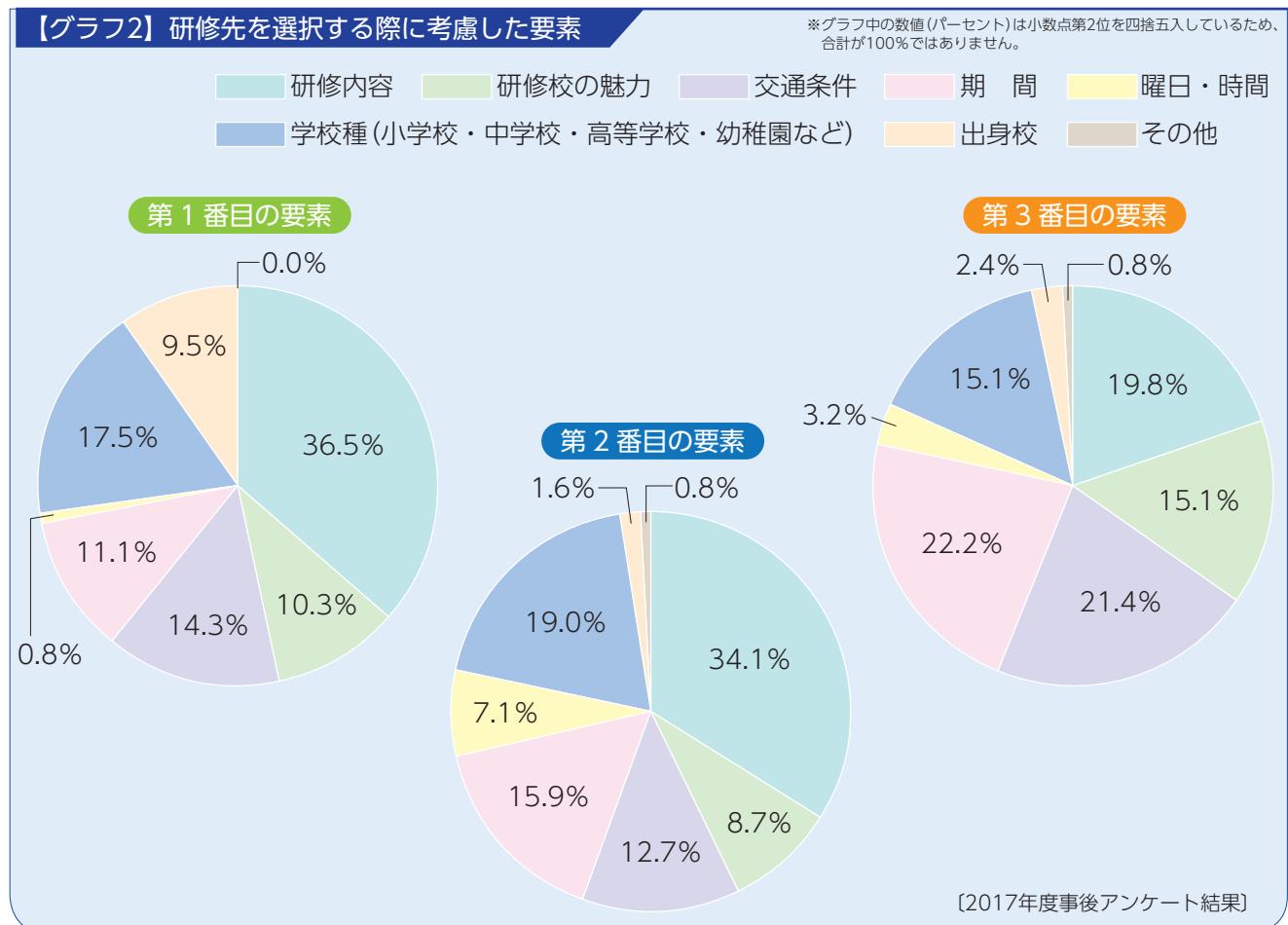
A 「Webエントリーシステム」には、教育委員会、学校・園それぞれの方針にそって、受け入れたい学生について、「教職志望者」「年次」「学部」などの条件を入力する欄を設けております。学生が行う活動に応じて学部・年次を限定する必要や、部活動経験など、その他の条件がございましたらご入力ください。ただし、条件によっては、対象学生も限られますので、その点はあらかじめご了承願います。

Q 学生はどのようにして研修先の学校・園を選ぶのでしょうか？

A グラフ(P.12 グラフ2)のとおり、学生が最も重視しているのは研修内容(学校・園での活動内容)です。事前指導で、学生には「学校現場を知ることが目的なので、さまざまな仕事を体験させてもらいたいなさい」と伝えております。研修内容については、一人の学生につき、複数の内容を組み合わせていただいても結構です。「研修情報」には、なるべく詳しい内容をご入力くださいますようお願いします。

研修先を決定する要素としては、研修内容のほかに、交通条件や研修期間を重視していることがわかります。大学の授業の関係上、インターンシップ生の半数以上は、短期連続型での研修を希望します。しかし、教職志望が固まり、児童・生徒と長く接したいという学生も増えてきます。

長期型の場合は、学業との両立が前提のため、曜日・時間は募集段階で確実に決定いただくようお願いします(選択可能な複数の曜日・時間がある場合は、極力、備考欄にその旨を明記願います)。これまでに、大学より派遣内定を出した学生が、受入学校・園との面談に臨んだ際に、受入学校・園でご提示いただいた具体的な時間や日程などが学生の授業日程と重なり、スムーズに研修を行うことができなかったケースがありました。

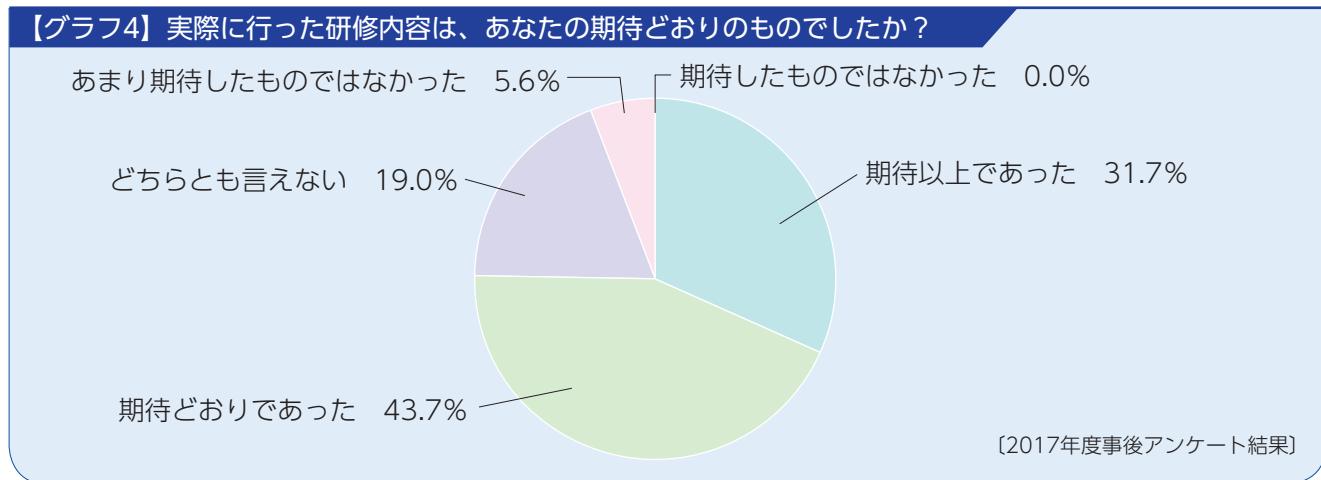
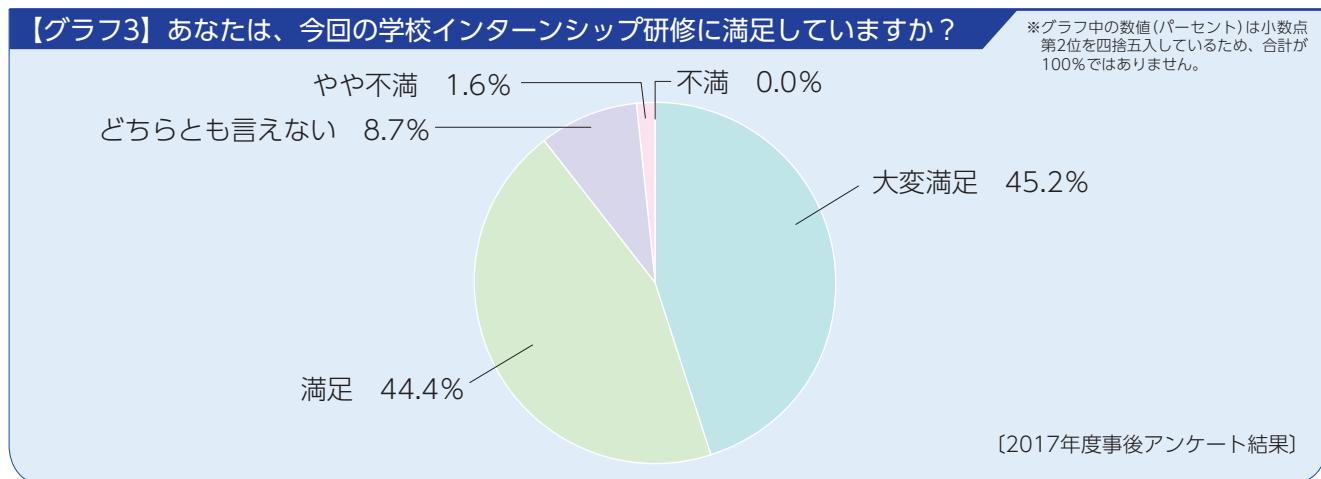


Q 学生を受け入れる際に留意すべき点はありますか？

A まず、「受入担当者」をお決めください。学生には「Webエントリーシステム」の情報をそのまま開示します。学生は、派遣内定後、受入担当の先生にご連絡させていただきます。学生は具体的な研修内容や相談など全て受入担当の先生と行います。また、全研修終了後、学生はP.16の「研修報告書」を大学に提出します。その際、誠にお手数ですが、「研修報告書」に講評のご記入をお願いします。

Q 学生が学校インターンシップに申込む動機は何でしょうか？

A 教育現場での就業体験が本プログラムの趣旨ですが、学生が最も期待していることは、児童・生徒とのふれあいです。そしてまた、一番悩むのも児童・生徒とのふれあい方のようです。創意工夫を重ねほとんどの学生が学校インターンシップに手ごたえを感じて研修を終えています(P.13 グラフ3～4)。



Q 最も気をつけねばならないトラブルには、どのようなものが考えられますか？

A 学校・園には個人情報が多く存在しています。本学では、事前講座での指導のほか、学生から受入学校・園と大学にP.15の「誓約書」を提出させ、受入学校・園と大学との間でP.15の「覚書」をとりかわしています。しかし、トラブル回避のため、児童・生徒の成績などの個人情報を含むファイルが入っているパソコンは利用させない、あるいは、ファイルへのアクセス権を設定するなどの配慮をいただければ、より安心して学生を受け入れていただけると思います。学校インターンシップは「人と人とのつながり」によって支えられています。事前講座では、学生に対して、児童・生徒の学習レベル、容姿、身体、服装、学校の環境についての発言、気軽に言ったつもりの一言や親しみをこめたつもりの一言が相手を傷つける場合もあると指導しています。また、学生と特定の児童・生徒が親しくなり、携帯番号やメールアドレスを教えあうというようなことのないよう指導しております。受入学校・園でも、ご指導をお願いします。

Q 学校インターンシップ終了後にも、引き続き学生に来てもらうことはできますか？

A 研修期間や時間の条件を定めているのは、本学が学校インターンシップを大学教育の一環として捉え、単位を認定しているからです。学校現場での活動には、学生個人によるボランティア活動があります。受入学校・園と当該学生との間で合意があれば、終了後も、ボランティアとして学校・園のお手伝いをさせていただくことに支障はありません。ただし、学生には、大学にその旨を必ず報告するようご指導ください。本学では、学生の活動を把握する趣旨から、学校インターンシップ後の学校ボランティアについても、原則として学生からの報告を求めております。

学校インターンシップ

参考資料 (関連文書様式の見本)

大学から受入校への送付書類について

内定通知

2018年6月〇日

学校インターンシップ生受入ご担当者様

関西大学 社会連携部
高大連携センター長
品川 哲彦

学校インターンシップ生の内定について（ご通知）

この度は、本学の「学校インターンシップ」プログラムにご尽力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、今年度の「学校インターンシップ」につきまして、申込書類と面接により慎重に選考を行った結果、別紙の学生を貴校に派遣することに内定いたしました。

つきましては、貴校にて面談の上、当該学生の受入の可否をご決定いただきますようお願いいたします。当該学生には、学校インターンシップ受入ご担当の先生宛に**6月〇日（〇）～6月〇日（〇）の間（土・日は除く）に電話連絡**をするよう指導しておりますので、面談の日時をご設定ください。面談は、受の可否をご判断いただくことも含んでおりますため、7月中に設定していただければ幸甚に存じます。

面談にて受入可とご判断いただきました場合は、引き続き研修内容や曜日・時間などの細部を学生本人とお打ち合わせいただきますよう重ねてお願いいたします。学生に対しては、貴校の規則、教育方針をよく伺い、研修中の服装等を含め留意点を確認するよう指示しております。ご多忙のところ恐れ入りますが、よろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。

【同封書類】

① 派遣学生氏名と研修期間、研修内容（別表）
② 派遣学生個人票
※個人の送信先等を記載しておりますので、取り扱いのご配慮をお願いいたします。
③ 学生派遣に関する覚書 2通
④ 覚書返送用封筒 1通

学生派遣に関する「覚書」について

本学所定の「覚書」を「2通」同封しております。内容を精査いただき、ご支障がなければ「ご署名・ご捺印」の上、**1通は貴校で保管、もう1通は同封の封筒にてご返送ください。** なお、同封書類上記①（別表）に記載しております研修期間等の内容に変更がある場合のみ該当箇所を二重線のうえ朱書きにて修正いただき、そのコピー（1部）を覚書とあわせてご返送ください。また、学生の守秘義務に関する「誓約書」は、本学から後日お届けする予定です。

【書類の返送およびお問い合わせ先】

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学 社会連携部 高大連携センター
TEL: 06-6368-1184 FAX: 06-6368-0858
E-mail: koudai@ml.kandai.jp

学生の派遣を内定後、内定通知および学生受け入れに関する書類を郵送します（大学内での内定ですので、後日、学校・園で別途面談（打合せ）をしていただいた上で、受け入れの可否をご決定ください）。

別 表

○○市立○○小学校 御中

以下的学生を関西大学学校インターンシップ生として内定いたしましたので、下記の表のとおり、お知らせいたします。

なお、研修期間および内容につきましては、受入申込書にご記入いただきましたものに従っておりますが、個別に学生との相談で最終決定していただければ幸いです。

研修期間	研修内容	派遣内定学生	特に希望する事項
(長期型) 8月上旬～12月中旬 週1日程度	・児童の学習活動への個別のサポート。 ・休み時間等での児童とのふれあい。 ・学習活動への準備の補助。	文学部2年 関大 太郎	児童の学習活動への個別サポート

本表にて、派遣内定学生の氏名と特に希望する研修内容を通知させていただきます。

個人票

個人票にて、学生の基本情報をお知らせいたします。

2018年度 学校インターンシップ申込書（個人票）					
学部	学科	学籍番号	年	年	年
フリガナ			生年月日		
氏名	姓別（ ）	年 月 日	写真貼付		
現住所	〒	郵便番号（ ）	建（ ）	駅	写真番号と氏名を記入
電話番号	ー	ー	出身高校		
携帯番号	ー	ー	クラブ・サークル	大学	（ ）
E-Mail	◎		（※電）	高校	（ ）
資格					
特技					
既習課程					
学校インターンシップ経験の有無					
海外経験	国名：	期間：	年 月 ー 年 月 (年 ヶ月)		
自己PR					
(1)学校インターンシップを希望した理由 (2)自分がしてみたいと思うこと (3)自分にできそぐだと思うことについて、できるだけ詳しく書いて下さい。					
※申込書（個人票）の記入内容につきましては、学校インターンシップに備する範囲以外での使用は致しません。					
裏に続く					

覚書

学生の受け入れが決定しましたら、受入校と本学の間でインターンシップ生派遣に関する「覚書」を取り交わします。

2通送付しますので、1通を本学までご返送ください。

関西大学 学校インターンシップ実習派遣に関する覚書

○○学校（以下「甲」という。）と関西大学（以下「乙」という。）は、甲が乙の派遣する学生を、学校インターンシッププログラムによる実習生（以下「実習生」という。）として受け入れることに商し、次のとおり覚書を締結する。

（実習生の派遣及び受け入れ）
第1条 乙は、実習の実行にあたり、別表の学生を実習生として甲に派遣し、甲はこれを受け入れるものとする。

（実習生の受け入れ条件）
第2条 甲は、実習生の受け入れ条件等は別表に定める。

（実習生の服務及び守秘義務）
第3条 乙は、実習生に對し、実習期間中、甲の既習規則をはじめ職員に適用される規則、規則を遵守させる旨を、実習期間中に知り得た行為及び他の在学中の他組織等の機関事務を実習期間中、守秘させるとともに実習終了後も他に漏洩させないことを目的として、事前講座の受講及び誓約書の提出を行わせらるるものとする。

（実習内容）
第4条 実習の内容については、乙は甲に一任するものとする。ただし、甲は、実習生に対し、実習開始前に実習内容について説明し、以降の実習においては適宜指導を行うものとする。

（実習の費用）
第5条 甲は、実習期間における実習生の交通費、食費、その他の実習に関連する費用を実習生に支払わない。ただし、甲に支払うべき特段の事情がある場合は、この限りではない。

（個人情報の取扱）
第6条 甲は、実習生の個人情報を保護するに努め、実習生の個人情報を（他の情報と容易に照合することができるものとされる個人情報を除く）について、実習の実施に伴う以外の目的に使用してはならない。

2 甲は、実習生の個人情報を保護するに努め、実習生の個人情報を（他の情報と容易に照合することができるものとされる個人情報を除く）について、実習の実施に伴う以外の目的に使用してはならない。

3 実習生が甲又は第三者に損害をもたらした場合は、甲が行うものとする。

（賠償請求）
第7条 乙は、実習期間中に発生した事故による実習生の損害について、その原因が甲に起因していることが明らかである場合を除き、原則として甲に賠償の責任を求める。

（実習中の事故等の補償）
第8条 実習生が甲の「実習教育実習災害補償保険」（以下「災害保険」という。）に加入するものとする。
2 甲は、被保険者（被扶養者）の扶養親族（扶養親族とは、甲の加入する学生保険等により補償する。）の利用等に関する必要な手続は、乙が行うものとする。

3 実習生が甲又は第三者に損害をもたらした場合は、甲が行うものとする。

（有効期間）
第9条 この覚書の有効期間は書面記載の日から実習期間満了の日までとする。

（その他）
第10条 この覚書の解釈に疑義が生じた場合、又はこの覚書に記載のない事項については、甲乙協議の上決定する。

この覚書の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各自1通を保有するものとする。

2018年 月 日

甲

乙 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学 社会連携部 高大連携センター長
品川 哲彦

誓約書(受入校宛)

学校現場で研修を行うにあたって、研修先の就業規則の遵守および、研修先で知り得た情報の守秘についての誓約書を学生に提出させ、大学より送付させていただきます。

誓約書

2018年 月 日

_____御中

私は、関西大学「学校インターンシッププログラム」による実習にあたり、受け入れ先学校の就業規則をはじめ職員に適用されるその他の規則、規約並びに指示を遵守し、実習に専念いたします。

また、実習実施期間中に入手した機密事項、個人情報については、守秘するとともに、実習中及び実習終了後においても他に漏洩しないことを誓います。

関西大学 学部 学科
専攻

関西大学大学院 研究科 専攻

学籍番号 _____

氏名 _____ 印

誓約書(大学宛)

誓約書

2018年 月 日

関西大学 御中

私は、関西大学「学校インターンシッププログラム」による実習にあたり、受け入れ先学校の就業規則をはじめ職員に適用されるその他の規則、規約並びに指示を遵守し、実習に専念いたします。

また、実習実施期間中に入手した機密事項、個人情報については、守秘するとともに、実習中及び実習終了後においても他に漏洩しないことを誓います。

関西大学 学部 学科
専攻

関西大学大学院 研究科 専攻

学籍番号 _____

氏名 _____ 印

インターンシップの実施期間について(業務日報、研修報告書の作成)

業務日報(見本)

関西大学 学校インターンシップ業務日報				
<small>この業務日報は、研修日 11 日以内に全ての日程をまとめて研修報告書と共に、史政の教室(千里山)・高大連携センター・実習:新企画部オフィス、実習ミーティング:ミューズオフィス、等:サキキャンパス事務室)に提出してください。提出出日が大学の夏季休業期間にあたる際は、休業届けに提出してください。</small>				
学部	法学部	学籍番号	法〇〇-〇〇〇〇	氏名 関大 太郎
研修先校名	さくら市立さくら小学校			
研修日	2018年〇月〇日 (〇)			
研修時間	8:20 ~ 17:00			
※ 研修時間は、具体的かつ正確に記入してください。特に終了時間を書き忘ることのないように注意してください。				
時間	業務内容			
8:20	登校			
8:30~8:50	朝礼			
8:50~9:35	国語: 音読「いちねんせいのうた」			
9:35~9:45	休み時間			
9:45~10:30	夏休みの思い出発表			
10:30~10:50	休み時間			
10:50~11:35	書写 (カタカナ)			
11:35~11:45	休み時間			
11:45~12:30	図書 (本返却)、算数: 持ち物 (箱) の説明			
12:30~13:10	給食			
13:10~13:30	掃除			
13:30~13:50	屋休み			
13:50~14:50	算数: たし算、ひき算、帰る準備			
14:50	児童下校			
14:50~17:00	報告書まとめ、宿題の丸つけなど			
17:00	下校			
今日、学んだことや所感				
<p>1年1組では、休憩時間の終わりのチャイムが鳴ったら席に着いておくという決まりをつくっていて、休憩時間が終わる5分くらい前になると児童が時計を気にしたり、「そろそろ戻ろう」と自分たちが気付けることはすごいと思いました。また、少し遅れて教室に戻ってきた児童には、他の児童が「もうちょっと早く帰ってこなあかんで！」と声を掛けっていて、お互いに注意し合う姿勢は、すばらしいと思いました。</p> <p>放課後は算数の宿題のプリントの丸つけをしました。30人の丸つけをするだけなのに40分ぐらいかかり、改めて教員という仕事を大変さがわかりました。授業が終わってもプリントの丸つけや会議、そして次の日の授業の準備等、本当にたくさんの仕事があるのだなと思いました。</p>				

インターンシップ生には「業務日報」および「研修報告書」の作成を義務付けております。

「業務日報」…研修日ごとに、その日行った業務や所感を記録

「研修報告書」…研修終了時に研修の概要や全体的な反省点、今後の展望について記入

なお、研修報告書には、受入担当の先生に記入いただくコメント欄を設けておりますので、お手数ですが、研修終了時に、インターンシップ生へのアドバイスや意見などをご記入いただきますようお願いします。

研修報告書(見本)

関西大学 学校インターンシップ研修報告書				
<small>この報告書は、研修日 11 日以内に全ての日程をまとめて史政の教室(千里山)・高大連携センター・実習:新企画部オフィス、実習ミーティング:ミューズオフィス、等:サキキャンパス事務室)に提出してください。提出出日が大学の夏季休業期間にあたる際は、休業届けに提出してください。</small>				
学部	法学部	学籍番号	法〇〇-〇〇〇〇	氏名 関大 太郎
研修先校名	さくら市立さくら小学校			
研修期間	2018年〇月〇日 (〇) ~ 〇〇月〇〇日 (〇)			
研修概要、および全体的な反省点や今後の展望について				
<p>今回のインターンシップで心掛けたことが二つあります。まず一つめは、児童に積極的に話しかけていくことです。私は1年1組に入らせていたのですが、ろうそなど他の学年の児童と出会った時も口頭をかけることを心掛けました。1~6年生の児童と話していると、やはり低学年と高学年では話す内容や口調も全然違うし、アプローチを変えるくはいけないということを感じました。</p> <p>二つめは、私はまだ教壇に立って教えることができないので、先生の授業の進め方や口調、叱り方やほめ方などをしっかりと見学し、どのようにクラスをまとめているのかを学ぶということです。一度児童を下すかしてしまって、クラス全員のまとまりがなくなりますと、どうぞということを知りました。また、一度まとまりがなくなると修正することは難しいのですが、初めてが到底だと心がけました。先生は児童を叱る時は何がいけなかつたのかをきりと伝え、反省するまで徹底的にやっていました。また、休憩時間の終わりのチャイムが鳴るまでには教室に戻り、席に着いておくというルールを作っていて、とてもまとまりのあるクラスだなと感じました。楽しむ時は楽しんで、きちんとすると時は真剣に、このようなメリハリが重要だなと感じました。</p> <p>今回のインターンシップを通して、課題をたくさん見つけました。児童が授業中こそ見をしていましたが、關係のないことで話しかけていた時に、はっきり叱られたり、並んで移動する時にまとめられなかつたという点です。これからはこのような場面で、先生がどのような対応をしていくのか目を向けていきたいです。短い期間でしたが、クラスに入り授業を見学させていただき、たくさんの児童と交流ができ、様々な発見をすることができました。インターンシップを通して、小学校の先生になるという気持ちがより強いものになりました。</p> <p>これからも、さくら小学校での経験を出し、生かしながら、4年後には教壇に立てるよう努力していきたいです。</p>				
以下は研修先ご担当の先生に記入をお願いしてください。				
ご担当の先生から研修学生へのアドバイス、大学に対するご意見などご記入いただければ幸いです。				
<p>学級担任になつて一番大切なことは、学級を経営することだと思います。もちろんクラス全体で運んだり楽しくなだらかにすることも大切だと思いますが、(学力づくりで学級づくり)を実行しています。学習中は真剣に課題に取り組み、家庭で学習もきちんと習慣付けることは欠かせません、「どの子にもわかる」という思いも強いつで、さまざまな教材研究も行います。クラスが真面目に学習に取り組むようになると、お互いの良さを認め合い、努力する雰囲気へと高まっていきます。</p> <p>大切なことは、作文・詩・日記などを読み合うことにより、居心地の良い集団に、自分をわかってもらえるクラスにすることです。</p> <p>1年次生という早い時期に現場を経験し、是非4年後に活かせるよう研修を積んでください。</p>				
受入担当の先生のコメント欄				
氏名 関 大 駿				

学校インターンシップ

受入申込みについて

学校インターンシップWebエントリーシステム

本学では学校インターンシップWebエントリーシステムを利用して、学校インターンシップの受入申込みを行っていただいております。

◆利用ID・パスワード申請方法

関西大学 学校インターンシップHP (<http://www.kansai-u.ac.jp/koudai/gakuinte/>) の『受入校のお申込』のページにある「学校インターンシップWebエントリーシステム利用ID・パスワード申込みフォーム」に必要事項を入力の上、送信。または、P.19にある申請書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください(高大連携センター FAX : 06-6368-0858)。

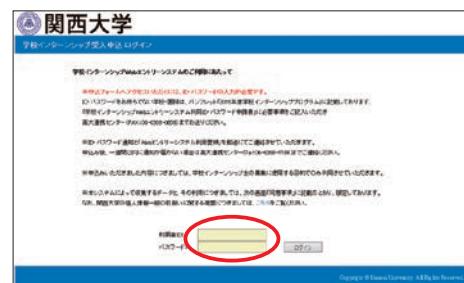


ID・パスワード通知は、選択いただいた方法(メールかFAX)にてお送りさせていただきます。申込み後、一週間以内に通知が届かない場合は、高大連携センター(TEL:06-6368-1184)までご連絡ください。

学校インターンシップWebエントリーシステム利用ID・パスワード申請期間
本パンフレット受取～4月19日(木)

◆Webエントリー方法

ID・パスワードが届きましたら、学校インターンシップ専用サイトの「Webエントリーシステム利用要領」をご参照の上、研修内容などの情報をご入力ください。



ID・パスワードの入力画面



Webエントリーシステム研修情報入力画面

学校インターンシップWebエントリー締切 4月21日(土)

本書は高大連携センター(学校インターンシップ)のHPからダウンロードすることも可能です。

受入学校・園向けインターンシップ募集説明会申込書

FAX送信用紙

(送信票は必要ございません。ご送信の際はこの用紙だけお送り下さい。)

関西大学高大連携センター 行

FAX 06-6368-0858

【受入学校・園向け学校インターンシップ募集説明会について】

4月11日(水)16:30からの「受入学校・園向け学校インターンシップ募集説明会」に出席いたします。

切り取り線

学校・園名 教育委員会名	
所属・役職	
ご出席者	(計 名)

4月7日(土)までにご送信願います。



FAX送信方向



本書は高大連携センター(学校インターンシップ)のHPからダウンロードすることも可能です。

学校インターンシップ Web エントリーシステム 利用 ID・パスワード申請書 FAX送信用紙

(送信票は必要ございません。ご送信の際はこの用紙だけお送り下さい。)

関西大学高大連携センター 行

FAX 06-6368-0858

【2018年度 学校インターンシップ生受入申込みについて】

学校インターンシップ生を関西大学から受け入れていただける場合は、学校インターンシップWebエントリー利用のためのID・パスワードをお送りいたします。以下に必要事項をご記入のうえFAXにて送信ください。

学校・園名 教育委員会名	
ご担当者名	
ご住所	〒 電話:
ID・パスワード 通知方法 ※1	<input type="checkbox"/> FAX:
	<input type="checkbox"/> メール:

※1) FAXかメールのいずれかを選択し、必要事項をご記入ください。

選択いただいた方法にて ID・パスワードを通知させていただきます。

申込み後、一週間以内に通知が届かない場合は、高大連携センター(06-6368-1184)までご連絡ください。

4月19日(木)までにご送信願います。



FAX送信方向





東京研究基盤





お問い合わせ先

関西大学 社会連携部 高大連携センター

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

TEL. **06-6368-1184** (直通)

FAX. **06-6368-0858**

E-mail : koudai@ml.kandai.jp

関西大学 学校インターンシップ

検索 click!

<http://www.kansai-u.ac.jp/koudai/gakuinte/>